



タキ29300 日本陸運産業



写真:NP-FACTORY 高橋 政士

※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

◆実車ガイド

- ・タキ29300は1976年より製造された濃硫酸専用のタンク車で、国鉄時代に製造されたグループと、JR化後に増備されたグループが存在しました
- ・日本陸運産業が所有した車両は1990年代に製造され、主に神岡鉱山前・安中を拠点に北陸・羽越本線・上越線や東海道本線を走る貨物列車に連結されていましたが、2008年3月までに全車両運用を終了しました

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴

- ・日本陸運産業が所有したタキ29300形を新規製作で再現
- ・1990年代に製造された後期型を再現
- ・TR213形台車を装備した車両を再現
- ・タンク側面にあるハシゴやタンク上部のランボードは別パーツで再現
- ・車番は印刷済み
- ・常備駅は「岳南富士岡」を印刷済み
- ・反射板パーツ付属
- ・黒色台車枠、黒色車輪採用

◆ここがポイント

POINT

<8744><98747>とは異なる上部ハッチ周りの形状を新規製作で再現



写真:NP-FACTORY 高橋 政士

※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

模型で楽しむ、あじ日の貨物列車...

国鉄時代のヤード輸送全廃以降も、トラックへの転換が困難な化成品輸送を中心に始発・終着駅の異なる貨車を連結した貨物列車が各地に残り、コンテナ化や接続専用線の廃止で徐々に数を減らしつつも一部は2008年3月まで走り続けました。タンク車や有蓋・無蓋車、コンテナ車などを数両ずつ連結し、時には1両のミニマムな姿、時には10両以上の長編成で走行した貨物列車。お手元の車両たちを集めて再現してみたいかたがでしょうか。

ここでは、タキ29300とともに楽しめるTOMIXの貨車をご紹介します。



タキ18600・タキ5450
編成に入ればひときわ目立つ存在でした



※写真はイメージです

タキ3000
ガソリン輸送以外にも石油類や化成品輸送に使用された車両もありました



ワム280000
平成初期までは紙輸送以外でも使用されることがありました
沿線に製紙工場の多い東海道本線では化成品輸送のタンク車を連ねた貨物列車にワムが連なる姿がよく見られました

品番	8762	品名	私有貨車 タキ29300形(後期型・日本陸運産業)	セット両数	1両
発売月	2024年10月	JANコード	4543736087625	予価	¥1,980 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	180×30×65mm	パッケージ形態	クリアケース

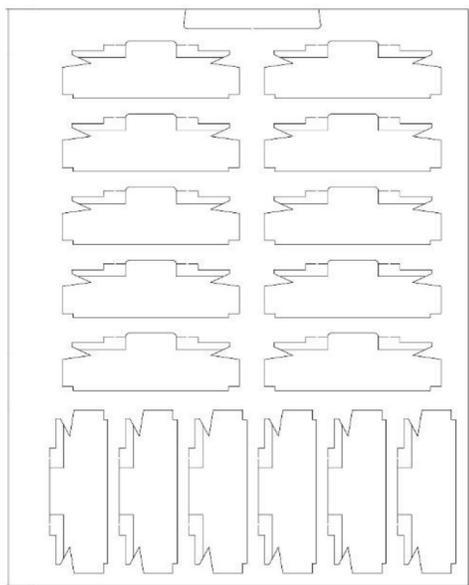
NRS株式会社商品化許諾済

車両ケース タキ1900・29300用



◆製品化特徴

- ・開閉しやすい車両収納ケース
- ・タキ1900・29300形など、全長の短いタンク貨車を16両収納可能な仕切り形状
- ・単品車両の保管用



タキ1900・タキ29300形が
16両収納可能な車両ケースが
新たに登場します！

※写真はイメージです
実際の製品仕様と異なる場合があります

品番	6203	品名	車両ケース(16両用・タキ1900・29300サイズ)	予価	¥2,640 (税込)
発売月	2024年10月	JANコード	4543736062035	パッケージ形態	ブック型プラケース
原産地	日本	パッケージサイズ	218×304×34mm		